



2024 年 12 月 24 日

株式会社 JERA

株式会社グリーンパワーインベストメント

東北電力株式会社

青森県沖日本海（南側）における洋上風力発電事業者に選定されました

株式会社 JERA（本社：東京都中央区、代表取締役会長 Global CEO：可児 行夫 および 代表取締役社長 CEO 兼 COO：奥田 久栄、以下「JERA」）、株式会社グリーンパワーインベストメント（本社：東京都港区、代表取締役社長：坂木 満、以下「GPI」）および東北電力株式会社（本店：宮城県仙台市、取締役社長 社長執行役員：樋口 康二郎、以下「東北電力」）、の 3 社は、JERA を代表企業とするコンソーシアム（以下「本コンソーシアム」）を通じて、再エネ海域利用法*に基づく「青森県沖日本海（南側）における洋上風力発電事業（以下「本事業」）」の公募に応募し、本日、事業者を選定されました。

本事業は、発電設備出力 61 万 5,000kW を計画している国内最大規模の着床式洋上風力発電事業であり、2030 年 6 月の運転開始を目指しております。

JERA は、国内最大の発電事業者であり、多数の発電所での長期にわたる運転・維持管理（以下「O&M」）実績や、台湾や欧州における豊富な洋上風力発電の経験とノウハウを有しております。今後、英国大手エネルギー企業 bp と 2025 年 9 月に設立する世界最大級の規模となる洋上風力事業合弁会社 JERA Nex bp を通じて、専門知識の高度化と競争力ある資金調達の強化を目指します。GPI は、国内外における開発・建設・O&M 実績を有する再エネ事業者であり、地域に根ざした開発力を活かし、石狩湾新港洋上風力発電所や国内最大級の陸上風力発電所であるウィンドファームつがるなど国内においては 50 万 kW を超える案件の開発から O&M までを一気通貫して手掛けた経験を有しております。東北電力は、東北・新潟地域での 70 年以上にわたる発電所の建設・O&M 実績を有する電力会社であり、電力安定供給を通じて地域との信頼関係を構築しております。

3 社は、それぞれが有する豊富なノウハウと強みを持ち寄ることで相乗効果を発揮し、十分な実力と実績を備えたコンソーシアムとして、長期的、安定的かつ効率的な発電事業を実現します。

今後、本コンソーシアムは「青森県沖日本海（南側）における協議会意見とりまとめ」を尊重し、地域および漁業との共存共栄を目指して開発を進めてまいります。

本事業は長期にわたるプロジェクトであることから、地域・関係各所の皆さまにご理解いただけるよう丁寧な説明を続け、ご協力をいただきながら、地域および国内経済の発展と日本政府が掲げる 2050 年カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

※ 海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律

別紙：事業計画概要

以 上